

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域行事への参加が出来てなく、事業所で行う地域向けの催し物がない。	地域行事に参加する機会を増やし、地域住民との交流を深める。 グループホームという施設を知って頂けるよう、地域住民と入居者がともに参加できる行事を開催する。	自治会へ協力していただき、回覧板等にて、地域行事の把握を行い、事業所の広報活動を行う。 行事に参加する際の職員の確保。	12ヶ月
2	4	運営推進会議への参加者が固定されている。	近隣住民の参加が少ないため、近隣住民の参加を増やし、多様な意見を施設運営や入居者へのサービスに繋げていく。	警察・消防等の方にも、参加していただけるよう、依頼していく。 地域行事への参加や、自施設での行事に参加を依頼し、事業所へ興味を持っていただき、参加に繋げていく。	12ヶ月
3	13	職員の技術・知識向上に向けて。	職員の技術及び知識の向上に努める。	各ユニット会議で時間を作り、施設内研修の機会を増やす。 外部研修への参加の機会を設け、職員に働きかける。	12ヶ月
4	40	栄養士が作成したメニューに沿って、食事を提供しているが、なかなか本人の希望を取り入れる事が出来ていない。	本人の希望を伺い、希望に沿ったメニューを取り入れ、さらに食への楽しみと満足度を持っていただく。	定期的に、嗜好調査を行う。 希望に沿ったメニューの作成。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。